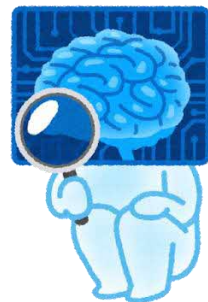


「生成AI」と上手に付き合うために 大切なポイント

生成AIは、子どもの学びや調べ物を助けてくれる便利な道具ですが、一方で誤った情報を示すこともあり、使い方には注意が必要です。子どもが安全に活用できるよう、特徴や留意点を理解しておきましょう。

生成AIも万能ではない？

生成AIは、質問に対して、これまで生成AIが学習した大量の文章データや必要に応じて新たにインターネット上から検索して調べた情報をもとに回答を作りますが、その内容を人間と同じように理解していません。また、内容が正しいかどうかを判断しているわけでもありません。もっともらしい説明であっても、誤った情報が含まれることがあります。



生成AIの苦手分野と注意点



生成AIは、数字や日付、人名、最新の出来事など、正確性が求められる情報を扱うことを苦手としています。また、インターネット上に情報が少ない話題では、参考にできる情報が限られるため、誤った情報が含まれることがあります。さらに、これまで生成AIが学習したデータや参照した情報の影響を受けるため、偏った考え方や思い込みが回答に反映される場合もあります。

逆に、文章の要約や情報整理、文章作成などは得意です。多くの情報を整理してまとめたり、分かりやすい表現に言い換えたりすることには向いています。

家庭での指導

今後、子どもたちが生成AIに触れる機会はますます増えていきます。家庭では、生成AIの回答を何でも信じずに「本当にその答えは正しいかな？」「他にも情報はないかな？」と一緒に考えてみる機会を作りましょう。生成AIに直接答えを求めるだけでなく、自分で考えたり調べたりすることの大切さを考えさせることが重要です。

また、利用している生成AIによっては入力した情報が生成AI自身の学習等に利用される場合があるため、氏名や住所、写真などの個人情報を入力しないよう、家庭でも繰り返し伝えてください。

